

環境経営レポート

(2023年8月1日～2024年7月31日)

【目次】

1. 組織の概要・対象範囲	P.2
2. 環境経営方針	P.3
3. 実施体制・役割分担及び権限	P.4
4. 環境経営目標	P.5
5. 環境経営計画及び実施状況評価	P.6
6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容 (実施体制を含む)	P.6
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績及び環境経営の実績・ 取組結果とその評価（実績には二酸化炭素排出量を含む）、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P.7
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P.8
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P.9
○ 別添資料	P.10~16

【事業概要】



漏水調査



海外での技術指導



発見された地下漏水



2024年8月30日発行
水道テクニカルサービス株式会社

1. 組織の概要・活動の明確化

組織の概要及び対象範囲

- ・事業者名 水道テクニカルサービス株式会社

- ・代表者氏名 大島 健司

- ・所在地 横浜市旭区二俣川1-45-45大高ビル3F

- ・環境管理の責任者・担当者氏名、連絡先
 - 責任者/担当者氏名 大島 健司
 - 連絡先(TEL) 045-360-9220
 - 連絡先(E-mail) ooshima@suidou-tec.co.jp

- ・サイト名称及び所在地
 - 名称:本社事務所 所在地:横浜市旭区二俣川1-45-45大高ビル3F

- ・事業活動の内容
 - 上水道管路の漏水調査、公共施設及び民間施設の漏水調査

- ・事業規模 第20期(2023年8月～2024年7月)
 - 売上高 176,520 千円
 - 従業員数 11名(役員含む)
 - 事務所面積 66.97㎡

- ・対象範囲(認証・登録範囲)
 - 認証・登録対象組織 本社

 - 認証・登録対象活動 上水道管路の漏水調査、公共施設及び民間施設の漏水調査

2. 環境経営方針

【企業理念】

当社は、事業活動を通じ、安全・安心な水の持続的な供給に寄与することで、
全ての人が安心して水の裨益を平等に受けられる持続可能な社会を目指します。

【行動指針】

1. 環境負荷の低減を図るため、以下の活動に取り組みます。
 - (1) 省エネ(電気、燃料)を推進し二酸化炭素の排出量を削減します。
 - (2) 廃棄物の排出量を削減します。
 - (3) 水道施設からの漏水による損失水を削減します。

主体業務である「漏水調査」の実施により、CO2の削減に寄与します。

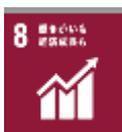
2. 事業活動にあたっては環境関連法規等を遵守します。
3. 環境経営の活動は、継続的改善を実施します。
4. 環境経営の活動は、SDGsの次の項目に寄与できる様実施します。



上水道の安定かつ持続的供給に貢献することで、全ての人々が公衆衛生としての水の裨益を平等に受けられる社会に貢献する。



事業活動を通じて、安全・安心・清廉な水の安定供給に寄与する。本邦上水道施設の他、海外の水道施設への技術的貢献により、限りある水資源の裨益を全ての人々が平等に受けられる社会になる様貢献する。



社員とその家族の健康の保持増進に積極的な支援と組織的な健康づくりを推進し、「明るく活気ある事業所」を目指す。



技術革新を行い、水道管路の維持管理及び強靱化に貢献する。



レジリエンスでサステナブルな水道施設となるために貢献する。



官民及び企業連携を推進し、本邦及び各国の水道事業発展に貢献する。

5. 環境経営方針は全ての従業員に周知します。

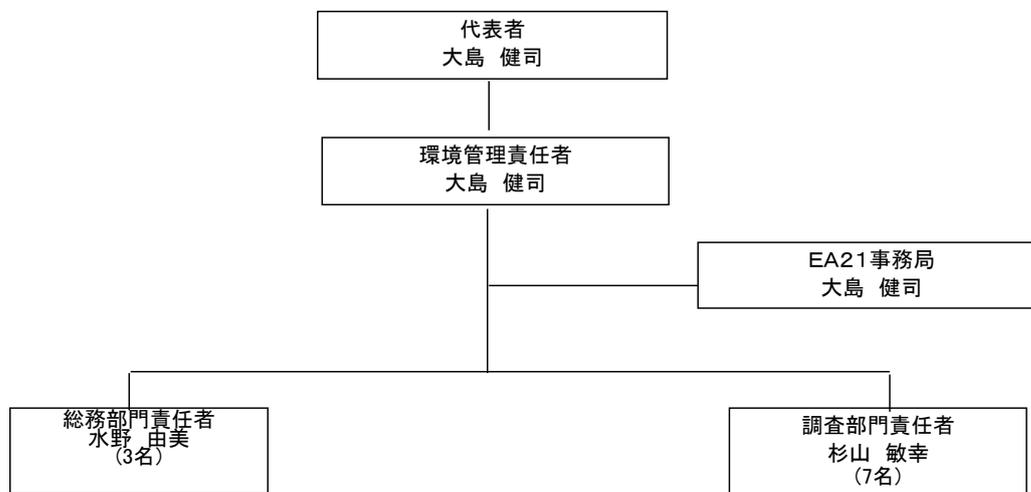
2022年10月31日 制定

水道テクニカルサービス株式会社

代表取締役 大島 健司

3. 実施体制・役割分担及び権限

実施体制及び役割及び責任・権限



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命、実施体制の構築 2. 環境方針の制定 3. エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境経営方針を理解し、環境経営計画に従って活動する。

4. 環境経営目標

環境経営目標	基準(実績)		中期目標		
	【2021年度基準値】 (2021年8月 ~2022年7月)	【2021年度実績値】 (2021年11月 ~2022年7月)	【2022年度目標】 (2022年11月 ~2023年7月)	【2023年度目標】 (2023年8月 ~2024年7月)	【2024年度目標】 (2024年8月 ~2025年7月)
1. 二酸化炭素排出量の削減	(排出量) 総量 26,416 kg-CO ₂	(排出量) 総量 19,907.92 kg-CO ₂	2021年実績値の2%削減 総量 19,509.76 kg-CO ₂	2021年度基準値比3%削減 総量 25,623.52 kg-CO ₂	2021年度基準値比4%削減 総量 25,359.36 kg-CO ₂
2. 電力使用量の削減	8,626kWh	6,511kWh	2021年実績値の2%削減 6,380.78 kWh	2021年度基準値比3%削減 8,367.22 kWh	2021年度基準値比4%削減 8,280.96 kWh
3. 自動車燃料(ガソリン)使用量の削減 (二酸化炭素排出係数:2.32kg-CO ₂ /L)	11,386 L (26,415kg-CO ₂)	8,581L (19,907.92kg-CO₂)	2021年実績値の2%削減 8409.38L (19,509.76kg-CO ₂)	2021年度基準値比3%削減 11,044.42 L (25,623.05kg-CO₂)	2021年度基準値比4%削減 10,930.56L (25,358.90kg-CO ₂)
4. 廃棄物排出量の削減	(一廃排出量) 74.2kg	(一廃排出量) 45.2kg	2021年実績値の3%削減 43.8kg	2021年度基準値比3%削減 71.9kg	2021年度基準値比4%削減 71.23kg
5. 水使用量の削減	(水使用量) 72m ³	(水使用量) 49m³	2021年実績値の2%削減 48.0m ³	基準年度値維持 72m³	基準年度値維持 72m ³
6. 自社主体事業(漏水調査)による 損失水の削減 ・時間当たり推定防止水量 ・1m ³ あたりのCO ₂ 削減量 =0.245kg (R2年東京都水道局数値を基準)	未集計	漏水防止量 52.5m³ (13.28kg-CO₂)	漏水防止量 57.75m ³ (14.15kg-CO ₂)	22年度(通年値=221m³) を基準 目標設定(7%増) 236.47m³/H ▼ 57.935kg-CO₂	22年度を基準とし 目標設定(10%増) 243.1m ³ /H ▼ 59.56kg-CO₂
7. 新興国に対する漏水調査業務の提案 ・案件形成活動 ・調査受託に向けた活動状況 ・調査受託調査の実施による漏水削減に寄与	状況把握	案件形成に向けた活動開始	「現地/パートナー企業の探索」 ・ターゲット国の現地企業探索とMOUの締結 ・共同営業計画・開始	「案件形成のための活動」 ・現地企業へ漏水調査業務の説明と営業指導 ・現地水道局へ、共同営業(提案書の提出及びプレゼン実施)	「業務発注に向けた活動」 ・デモンストレーションの実施 ・予算獲得のための見積及び仕様書等資料の提出

- 1) 購入電力の二酸化炭素排出係数：東京ガスからの供給により二酸化炭素排出係数は”0”となります。
- 2) 化学物質の使用はありません。
- 3) No.6時間当りの防止量は、弊社事業活動により防止・報告される発見漏水の推定量とする。
- 4) 目標達成のラインは、目標値プラス10%未満とする。

5. 環境経営計画（2024年度計画）

基準年度:2021年度

評価 ○:達成 ×:未達 □:計画 ■:実施

注) ○=計画目標量に対し+10%未満を目標達成範囲とする。

NO.	項目	年度目標 (2024年度)	達成手段	責任者	2024年					2025年									
					8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			
1	二酸化炭素排出量の削減量の削減	2021年基準値比4%削減 26,416 kg-co2 ↓ 25,359.36 kg-co2	<ul style="list-style-type: none"> 電力、化石燃料使用量の削減 低公害車・低燃費車の導入 作業効率の向上 車両の小型化 	管理責任者	<input type="checkbox"/>														
					<input type="checkbox"/>														
					計画排出量累計(kg)					6,339					6,339				
					実績排出量累計(kg)														
															期間計				
2	電力使用量の削減 * 排出係数は"0"のため 使用量削減に置き換える	2021年基準値比4%削減 8,626 kWh ↓ 8,280.96 kWh	<ul style="list-style-type: none"> 休憩時の消灯 装置の不使用时電源OFF エアコン温度設定最適化 	水野	<input type="checkbox"/>														
					<input type="checkbox"/>														
					計画電力使用量					2,070					2,070				
					実績電力使用量(kWh)														
					四半期実績累計(kWh)														
3	自動車燃料(ガソリン)使用量の削減	2021年基準値比4%削減 11,388L ↓ 10,932.48 L (25,358.90 Kg-CO2)	<ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップの実行 車輪別タイヤ空気圧管理 夏季以外のカーエアコンの抑制 急発進、急加速の防止 調査用車両への小型化、省エネ車両化 	杉山	<input type="checkbox"/>														
					<input type="checkbox"/>														
					計画燃料使用量					2,733					2,733				
					実績燃料使用量(L)														
					四半期実績累計(L)														
4	廃棄物排出量の削減 (一廃排出量)	2021年基準値比4%削減 74.2 kg ↓ 71.23 kg	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物の削減徹底 コピー紙、雑紙の再利用 デジタル推進による紙類の使用削減 	水野	<input type="checkbox"/>														
					<input type="checkbox"/>														
					計画排出量累計(kg)					17.8					17.8				
					実績排出量(kg)														
					四半期実績累計(kg)														
5	水使用量の削減 (水使用量)	現状維持 72 m³ ↓ 72 m³	<ul style="list-style-type: none"> 各水回り漏れチェック うがい、手洗い時の流しっぱなし防止 	水野	<input type="checkbox"/>														
					<input type="checkbox"/>														
					目標使用量(m³)					18					18				
					使用料実績(m³)														
					四半期実績累計(m³)														
6	漏水調査による損失水の削減 (時間当たり推定防止水量)	防止目標 2022年(221m³)比10%増 243.1 m³/H 59.56 kg-CO2 水1m³防止に伴うCO2削減量=0.245kg/CO2 * 東京都水道局算出数値を引用	<ul style="list-style-type: none"> 域内調査業務の受注 技術者の教育 質の高い調査、効率的な調査 	大島	<input type="checkbox"/>														
					<input type="checkbox"/>														
					目標防止量(m³/H)					61					61				
					実績値(m³/H)														
					参考値 CO2削減量														
7	新興国に対する漏水調査に実施 (及び技術移転による損失水量の削減)	共同営業の実施 製品技術のデモ * 当該項目は、定量的目標でなく定性的計画とする。	<ul style="list-style-type: none"> 共同営業の実施 デモンストレーション 予算獲得のための見積及び仕様等提出 	評価	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				
					計画内容														
					活動実績														
					達成状況(100/100)%														
NO.	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項(定期、臨時)	評価・確認結果、コメント、是正処置等															

6. 2023年度環境経営活動評価書

(運用期間:2023/8/1~2024/7/31)

NO.	推進項目	2023年度 目標	担当者	環境管理の 責任者	環境管理の責任者	環境管理の責任者
			結果確認	評価 ○or×	達成の要因/未達成の原因	未達成場合の是正措置・予防処置
1	二酸化炭素排出量の削減	3%削減 26,416 kg-CO ₂ ↓ 25,623.52 kg-CO ₂	23,161.60 kg-CO ₂	○	2月に営業用車両を入替、ガソリン車からハイブリッド車へ変更。運転方法（急発進急停車、アイドリングストップ等）の改善が、ガソリン使用料削減に貢献。	
2	電気使用量の削減(使用量削減目標)	3%削減 8,626 kWh/t ↓ 8,367.22 kWh/t	6,954.0 kWh/t	○	事務所内照明の間引き点灯、昼休憩時の全消灯を徹底した。高温日が続く状況下でのエアコン使用の際は、温度調整に配慮する。	
3	車燃料の削減(二酸化炭素排出量削減)	3%削減 11,386 L ↓ 11,044.42 L	9,983.45 L	○	調査用車両4台全てを軽車両に、営業車両2台の内、1台をハイブリッド車に変更。また、営業時の公共交通機関の利用を増やしたことが削減に寄与する。	
4	廃棄物排出量	3%削減 71.9kg ↓ 70.0kg	58.1 kg	○	会議時はOHP使用により、配布資料"0"を徹底した。引き続きペーパーレス化に努める。	
5	水使用量の削減	維持管理 72 m ³	77.0 m ³	△	元より使用料は少ない数値なので、今後も現状維持とする。	
6	自社主体事業(漏水調査による損失水量の削減)	漏水防止量7%増 236m ³	279.296 m ³ /H	○	業務の受注状況により変動はあものの、目標数値を超える漏水量を防止できた。	
7	自社主体事業(新興国に対する漏水調査の実施、及び技術移転等)	案件形成のための活動	・現地企業へ漏水調査業務の説明と営業指導 ・共同営業(提案及びプレゼン等)	×	11月にインド訪問、現地企業へ営業指導等を実施。1月には案件形成のため営業活動を実施した。当社都合により一部予定通りの営業が出来ない状況があった。	案件形成に遅れが生じているが、現地企業との共同営業及び本邦企業との連携により営業活動を活性化させる。

注) ○=計画目標量に対し+10%未満を目標達成範囲とする

報告手順:

担当者が結果確認記入→責任者(環境管理の責任者)が評価・原因究明・是正・対応策記入→代表者

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

I 遵守義務のある法規関係

区分	環境関連法規等名称	遵守状況の確認・評価	
		チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）（一般廃棄物の処理）	2024.7.26	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）（産業廃棄物の適正処理）	2024.7.26	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	2024.7.26	該当なし
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）	2024.7.26	該当なし
	使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	2024.7.26	該当なし
条例	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	2024.7.26	○
	神奈川県廃棄物不適正処理の防止等に関する条例		○
資格	公財）日本水道協会認定：水道施設管理技士に関する資格	2024.7.26	○

当社に関係する環境関連法規等は上記の通りですが、遵守状況を2024年7月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示、結果報告

配布先	結果報告書	文書番号	
		—	
見直し対象期間	2023年8月1日～2024年7月31日		
見直し実施月日	2024年7月1日 (定期・臨時)		
出席者	大島健司 阿部弘嗣 杉山敏幸 水野由美		
提出資料名	環境経営レポート全年度版及び当年度レポート作成済み分		
「課題とチャンス」 見直しの可否	見直しは行わない		
見直し結果	<p>①環境経営方針の変更の必要性 (有り・無し) 期限:</p> <p>②環境経営目標及び環境経営計画の変更の必要性 (有り・無し) 改善担当者: 期限:</p> <p>③実施体制の変更の必要性: (有り・無し) 改善担当者: 期限:</p>		
総括	<p>環境経営の通年運用2年目であることから、再度、全社員への周知、各責任者の責任と役割分担の確認を実施した。 運用期間内の成果は、目標数値のクリアからも合格点を与えられる内容であったと思う。不慣れな点や戸惑いもありながら、少しずつエコアクションが浸透しているように思える。次年度も継続して、目標値の達成のための排出量削減と、環境経営における行動規範を全社員で順守することが重要と考える。</p>		